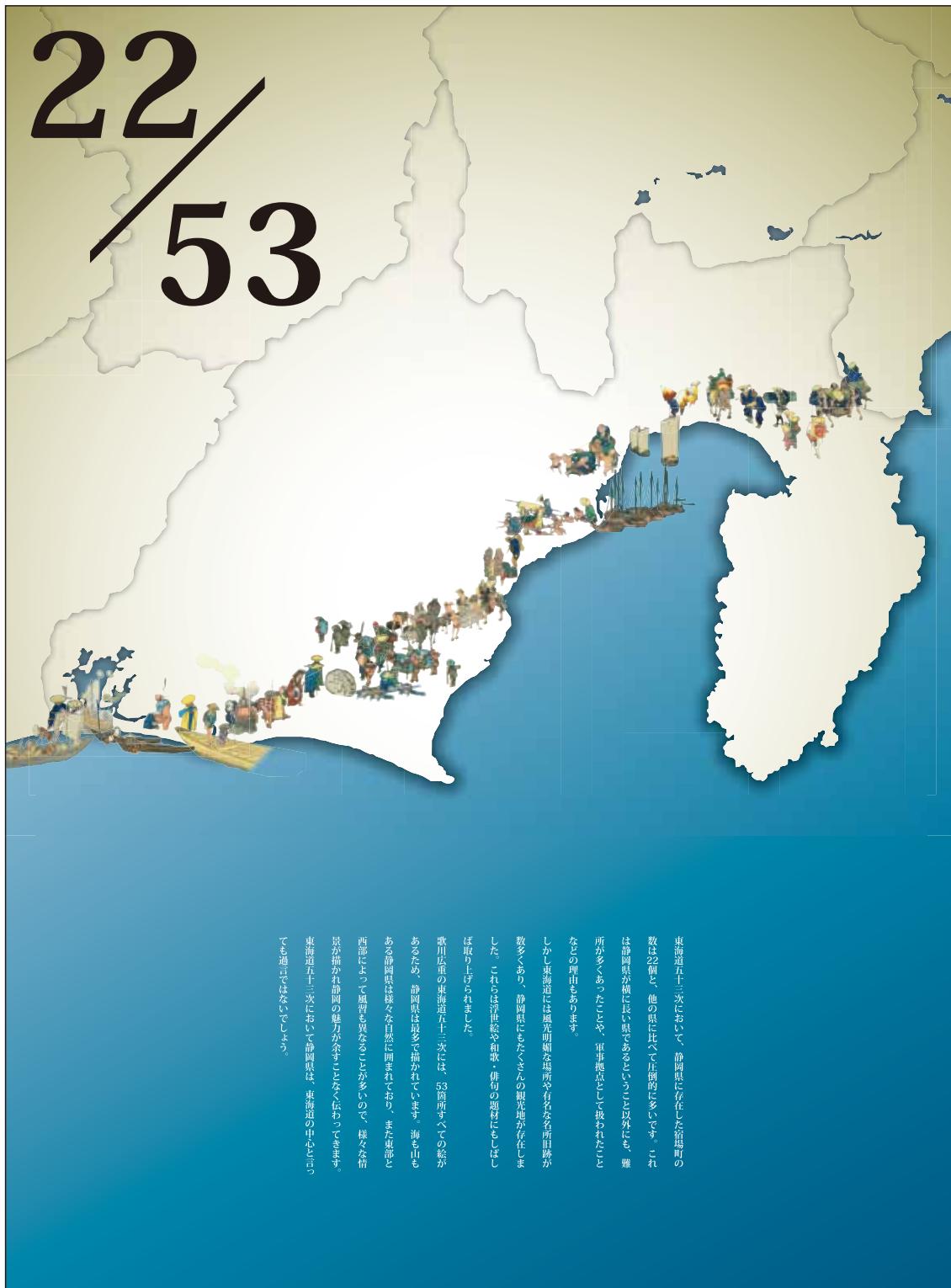


# ■ 準グランプリ

## 「東海道22/53次」

大塚源理（専門学校 浜松デザインカレッジ）



### 【作品コンセプト】

東海道五十三次における静岡県の立場を表現しました。あまり知られていない静岡の魅力やすごい所をたくさんの人々に知ってもらいたいと思い応募しました。

東海道五十三次において、静岡県に存在した宿場町の数は22個と、他の県に比べて圧倒的に多いです。これは静岡県が確実に長い県であるといつとこと外にも、難所が多くありましたことや、軍事拠点として扱われたことなどの理由があります。

しかし東海道には風光明媚な場所や有名な名所日跡が数多くあり、静岡県にもたくさんのがんばりが存在しました。これは浮世絵や和歌・俳句の題材にもしばしば取り上げられました。

鷹川庄重の東海道五十三次には、53箇所すべての絵があるため、静岡県は最多で描かれています。海や山もある静岡県は様々な自然が含まれており、また東部と西部によって風習も異なることが多いので、様々な情景が描かれ静岡の魅力が余すことなく伝わってきます。

東海道五十三次において静岡県は、東海道の中んどつても過言ではないでしょう。